

# 第二次ふくしのまちづくり計画

## 竹末・若葉

～ たすけあい 笑いたえない 不滅の竹若 ～



龍王神社

# 2026

# ▶ 2030

# ごあいさつ

平成8年に竹末・若葉地区社会福祉協議会が発足し、翌年の平成9年度にふれあいネットワーク推進事業の指定を受け、地域の福祉課題は自分たち自身で解決していくことを目標に『見守り・たすけあい・話し合いのしくみづくり』を進めてきました。第一次小地域福祉活動計画策定を平成26年度に行い、翌年から計画がスタートしました。到達年度は平成31年度でしたが、コロナ禍で3年間活動が行えず当初の計画通り実施できずに令和4年度に終了しました。しかしながら、その間に実施当時見えなかった課題や問題を見つけることができました。

令和4年の会長交代に併せて、地域の現状を把握しこれからの地域福祉の示唆を見つけることを目的として、地域の関係団体を招集して地域福祉について広く意見交換を行い、課題や問題点などを見つけることができたことが第二次小地域福祉活動計画をよりスムーズに進めることにつながりました。

今回、第二次小地域福祉活動計画を行うにあたっては、第一次の結果を踏まえて、まちづくり全体を見直し、活動計画については一から見直しを行い、新しい活動計画を策定することができました。5年後の地域福祉の姿をめざして、新しいテーマを『たすけあい 笑いたえない 不滅の竹若』といたしました。

テーマのように、笑いのたえない地域を目指して、小地域福祉活動の実施については、関係団体と連携しながら地域の福祉活動を推進していく所存です。

第二次小地域福祉活動計画策定にあたっては、八幡西区社会福祉協議会にご指導を頂き、各方面の団体の方々にご協力、ご助言を賜り策定することができましたことに心より感謝申し上げます。

令和8(2026)年3月



竹末・若葉地区社会福祉協議会  
会長 善明 英喜

# も く じ

第1章	計画策定にあたって	1
1	計画の性格	
2	計画の期間	
3	計画の策定経過	
第2章	竹末・若葉地区の現状と課題	2
1	地域の特性	
2	地域の福祉課題	
第3章	計画体系	3
1	基本理念	
2	基本目標	
3	実施項目（体系図）	
4	重点実施項目	
第4章	計画の推進	7
1	地域への計画の承認と周知	
2	計画を推進するための体制	
3	第三次計画の策定	
参考資料		8
1	策定委員会委員名簿	
2	策定委員会での協議事項	

## 第1章 計画策定にあたって

### 1 計画の性格

#### (1) 住民発信の行動計画

この計画は、竹末・若葉地区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しをもって計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

#### (2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、竹末・若葉地区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

#### (3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

#### (4) 竹末・若葉地区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

### 2 計画の期間

令和8(2026)年度～令和12(2030)年度までの5カ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

### 3 計画の策定経過

竹末・若葉地区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、竹末・若葉地区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、竹末・若葉地区小地域福祉活動計画を策定しました。

## 第2章 竹末・若葉地区の現状と課題

### 1 地域の特性

	平成 6(1994)年	平成 22(2010)年	令和 7(2025)年
世帯数	2,600 世帯	2,823 世帯	2,891 世帯
人口	7,035 人	6,289 人	5,607 人
14 歳以下	1,174 人 (16.7%)	788 人 (12.5%)	703 人 (12.5%)
15 歳～64 歳	4,846 人 (68.9%)	3,745 人 (59.5%)	2,979 人 (53.1%)
65 歳以上	1,015 人 (14.4%)	1,756 人 (27.9%)	1,925 人 (34.3%)
市民センター	竹末市民センター	小 学 校	竹末小学校 永犬丸小学校 引野小学校 萩原小学校
地域包括支援センター	八幡西 3	中 学 校	引野中学校 永犬丸中学校 穴生中学校

竹末・若葉地区社協は2つの自治区会（竹末・若葉）、複数校区体制で運営しています。竹末地域は、古くは農村地帯でしたが、今日では商業地域（相生）、住宅地域（竹末・若葉）として発展してきました。各地域とも高齢化が急速に進み、一部の地域では高齢化率が45%を超えており、一人暮らしの高齢者の見守り・健康づくりなどの対策強化が大きな課題となっています。

### 2 地域の福祉課題（小地域福祉活動の課題）

#### （1）地域のつながりが弱くなっている

核家族化により、住民同士のつながりが希薄化しています。住民同士がお互いの顔を知らない為、昔と比べて、高齢者のゴミ出し、買い物、外出など、ふだんの暮らしの中のちょっとしたことを頼めるようなご近所付き合いが難しくなっています。

#### （2）地域活動の担い手の確保が難しくなっている

長年地域の様々な行事や生活をする上での困りごとの解決に尽力してきた活動者が高齢となり、今まで通りの行事や活動を継続することが困難になっています。特に若い世代の活動者を増やすための仕組みづくりを進めていく必要があります。

## 第3章

## 計画体系

竹末・若葉地区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、障がいのあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、取組みを定めました。

## 1 基本理念

「たすけあい 笑いたえない 不滅の竹若」

## 2 基本目標

## (1) 取り戻そう！地域のつながり

市民センターを拠点とした活動や、地域の歴史や文化を感じる様々な行事等を通じて、多世代交流を目指します。地域団体をはじめ、福祉施設や学校等と連携しながら行事を企画・検討します。

## (2) 災害・犯罪0を目指して

地域住民の誰もが安全・安心に生活できるよう防災・防犯の体制づくりを推進します。見守り活動や防犯パトロール等を継続していく為に、まちづくり協議会や自治区会等の各団体との連携を強化します。

## (3) 子どもの笑顔が増えるまちづくり

子どもたちやその保護者を地域全体で見守る体制を作っていきます。また、子どもたちが楽しく参加できるようなイベントを企画し、幼少期から深く地域と関わることで、竹末・若葉のまちの将来を担う人材の育成を目指します。

## (4) いくつになっても友達ができるまち

住み慣れたまちで仲間たちといつまでも仲良く・元気に暮らしていけるように、サロン活動や健康講座、交流会等を充実させ、閉じこもりがちな高齢者をなくす工夫をしていきます。

## 策定委員会の様子



### 3 実施項目（体系図）

<b>「基本理念」</b> たすけあい 笑いたえない 不滅の竹若	<b>〔基本目標〕</b>	<b>〔主な取組み〕</b>
	<b>取り戻そう！ 地域のつながり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターまつり【竹末市民センターまつり実行委員会】</li> <li>・盆踊り【若葉自治区会】</li> <li>・竹末祇園山笠【竹末祇園山笠振興会】</li> <li>・龍王神社祭り【龍王神社、竹末自治区会】</li> <li>・洞南肆地区山笠競演会【洞南肆地区山笠競演会実行委員会、活性化委員会】</li> <li>・どんど焼き【竹末まち協、竹末・若葉自治区会】</li> <li>・門松づくり【竹末・若葉自治区会】</li> <li>・地域でGO！GO！健康づくり【竹末まち協】</li> <li>・多世代交流健康まつり【竹末まち協、竹末市民センター】</li> <li>・連絡調整会議【地区社協、竜王地区民児協】</li> <li>・賛助会員募集活動【地区社協、竹末・若葉自治区会】</li> <li>・募金活動【地区社協、竹末・若葉自治区会】</li> <li>・1 Day カフェ【地区社協、竹末市民センター】</li> </ul>
	<b>災害・犯罪0を 目指して</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練【竹末まち協、竹末・若葉自治区会、竹末市民センター】</li> <li>・防犯講座【竹末市民センター】</li> <li>・防災マップ【竹末まち協】</li> <li>・防犯パトロール【生活安全パトロール隊】</li> <li>・竹若通信（竹末・若葉地区社協だより）【地区社協】</li> <li>・竹末校区通学路プロジェクト【小学校、PTA、竹末子どもクラブ、竹末まち協】</li> </ul>
	<b>子どもの笑顔が 増えるまちづくり</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェルクラブ活動【地区社協、竹末こどもクラブ】</li> <li>・つくしんぼクラブ【竹末市民センター】</li> <li>・子育てサークルすこやかポンッ！【子育てサポーター、竹末市民センター】</li> <li>・登下校時の児童の見守り【地域ボランティア】</li> <li>・1 Day こどもサロン【地区社協、竹末市民センター】</li> </ul>
<b>いくつになっても 友達ができるまち</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康体操サロン【地区社協】</li> <li>・若竹いきいき倶楽部【竹末市民センター】</li> <li>・和い輪いカフェ【地区社協】</li> <li>・健康ウォーキング【竹末まち協】</li> <li>・竹末うたごえ広場【竹末まち協】</li> <li>・サロンふくろうの里【地区社協】</li> <li>・若葉サロン【地区社協】</li> <li>・手づくりサロン【地区社協】</li> <li>・花ボラサロン【地区社協】</li> <li>・健康麻雀サロン【地区社協】</li> <li>・笑顔で、昼ごはん！【地区社協】</li> <li>・軽作業助け合い活動【地区社協、竹末・若葉自治区会】</li> <li>・見守り活動【竜王地区民児協】</li> <li>・ウォーキング【竹末まち協、竹末・若葉自治区会】</li> <li>・グラウンドゴルフ大会【竹末・若葉自治区会、シニアクラブ】</li> <li>・ニューススポーツ大会【竹末・若葉自治区会】</li> </ul>	

## 4 重点実施項目

重点実施項目①		若い世代が参加しやすいまちづくり ～次世代の担い手の確保～					
1 課題背景及び地域の現状							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働き世帯の増加。</li> <li>・高齢者同士のつながりは強い傾向にあるが、若い世代のつながりは希薄化している。</li> <li>・地域行事の参加者が高齢化している。</li> <li>・活動の後継者の育成が十分でない。</li> <li>・活動者が高齢化している為、思うように活動ができていない。</li> <li>・地域の子どもたちと接する機会が少ない。</li> </ul>							
2 活動の方針・目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代を活動者として取り込み、若い世代が中心となった活動の実施を目指す。</li> <li>・若い世代に活動の協力を得られるような仕組みをつくる。</li> <li>・地域で活動している子どもたちに協力を促す。</li> <li>・子育てがしやすいまちづくりを目指す。</li> <li>・若い人の地域への愛着を育む。</li> <li>・子ども会の組織化。</li> </ul>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R8	R9	R10	R11	R12	備考
広報活動の強化	まち協 自治区会 小・中学校 特別支援学校 市民センター	準備	実施 ➡	➡	➡	➡	・SNS や Google フォーム、市民センターだよりの活用。 ・社協だよりのホームページに活動者の公募の記事を掲載。
子ども向けイベントの推進と強化	まち協 自治区会 青少年育成会 小・中学校 保育園 幼稚園 市民センター	準備	実施 ➡	➡	➡	➡	・昭和夏祭りや平成秋祭りのような若い世代が来やすいイベントの開催や親世代(20～30代)も参加できるイベントの企画を行い、つながりを深め、青少年育成の一環とする。
ウェルクラブ活動の強化	小・中学校 市民センター	実施 ➡	➡	➡	➡	➡	・市民センター等を活用したイベントを開催し、ウェルクラブの加入者を増やし、活動を強化する。
市民センターまつりを通して仲間づくり	まち協 小学校 PTA 市民センター	実施 ➡	➡	➡	➡	➡	・市民センターまつりへの参加者を増やし、まつりを通して新たな活動者の発掘を行う。
地域行事の伝承 ※迎春準備、山笠、盆踊り、どんど焼き	自治区会 青少年育成会 山笠振興会	実施 ➡	➡	➡	➡	➡	・地域の伝統行事を通して、地域への愛着心を養い、技術・方法の伝承と指導者の育成・発掘を行う。
「地域成人祭」の開催	まち協 自治区会 小・中学校 小学校 PTA 青少年育成会 市民センター	視察 準備	実施 ➡	➡	➡	➡	・他校(地)区の視察を行う。 ・市民センター内で新しい手法の成人祭やイベント(タイムカプセル等)を行う。
夜間パトロールの拡充	自治区会 警察署 消防署 区役所	実施 ➡	➡	➡	➡	➡	・社会人や学生が参加しやすい時間帯に開催することで若い世代が交流できる機会を設ける。

竹末・若葉地区小地域福祉活動第二次計画

重点実施項目②		全世代のプラットフォームに ～地域のつながりを強くする～					
1 課題背景及び地域の現状							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化により、住民同士のつながりが希薄化している為、お互いの顔を知らない。</li> <li>・町内会加入のメリットが明確でない為、加入者が減少している。</li> <li>・地域の人たちの現状を把握することが難しい。</li> <li>・地域情報の発信、周知の仕方を改善する。</li> </ul>							
2 活動の方針・目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは活動の拠点である市民センターや公民館について広く知ってもらう。</li> <li>・地域のつながりを強める為に、祭りやイベントなど住民同士が交流できる機会を増やす。</li> <li>・多世代が交流できるイベントの実施。</li> </ul>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R8	R9	R10	R11	R12	備考
市民センターの認知度を上げる	金融機関 スーパー コンビニ 病院 市民センター	実施 →	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターだよりや行事ポスターを近隣のコンビニ等に掲示する。</li> <li>・トイレだけでも利用してよいことを住民に知ってもらう。</li> </ul>
町内会の加入を促進する	市民センター 自治区会 マンション管理組合	準備	実施 →	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治区会の加入促進ポスターを作成し、近隣のコンビニ等に掲示する。</li> </ul>
音楽のまち竹末・若葉	市民センター まち協	準備	実施 →	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽イベントを通して、地域の音楽ホールを目指して住民の教養を高める。</li> </ul>
地域行事の推進と連携	市民センター 自治区会 関連団体	実施 →	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な地域行事への住民の参加を促し、つながりを深める。</li> </ul>
竹若メイト(福祉協力員)の拡充	自治区会 まち協 PTA	実施 →	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治区会・まち協の役員、組長、地域ボランティアなど役割を持った人による声掛けや見守りを行う。</li> </ul>
地域内の公共施設や公民館、集会所の積極的な活用	市民センター 自治区会 北九州市	実施 →	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センター等と連携して、公共施設の活用と身近な施設としての利用を促す。(サロン等)</li> </ul>
「ぶらり竹末」の実施	市民センター まち協 小・中学校	実施 →	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが自分の住んでいるまちを知ること、地域の愛着心を養う。</li> </ul>

## 第4章 計画の推進

### 1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- (1) 地区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 計画書概要版の配布などを通じた校区住民への周知等

### 2 計画を推進するための体制

#### (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、竹末・若葉地区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

#### (2) 計画の進行管理

竹末・若葉地区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

#### (3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

### 3 第三次計画の策定

第二次計画の推進状況を踏まえて、第三次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

## 参考資料 【竹末・若葉地区小地域福祉活動計画の策定経過】

## 1 竹末・若葉地区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿 (令和8年3月31日現在)

	氏名	所属団体	役職		氏名	所属団体	役職
1	善明 英喜	竹末・若葉地区社会福祉協議会 竹末まちづくり協議会	会長	19	川田 靖子	北九州市立引野中学校PTA 竹末校区青少年育成会	会長 副会長
2	善明 宅次	竹末・若葉地区社会福祉協議会 竹末自治区会	副会長 会長	20	長濱 津也子	学校法人緑ヶ丘学園 緑ヶ丘第二幼稚園	理事長 園長
3	古庄 勝弘	竹末・若葉地区社会福祉協議会 若葉自治区会	副会長 会長	21	坂井 浩司	認定こども園引野保育園	園長
4	野路 美恵子	竹末・若葉地区社会福祉協議会 竜王地区民生委員児童委員協議会	前副会長 前会長	22	武末 泰輔	八幡西警察署生活安全課	係長
5	嘉村 敬治	竹末・若葉地区社会福祉協議会 竹末まちづくり協議会	理事 事務局長	23	花立 耕一	八幡西消防署予防課	予防係長
6	山下 康子	竹末・若葉地区社会福祉協議会 竹末まちづくり協議会	事務局長 運営委員	24	権頭 喜美恵	社会福祉法人もやい聖友会	理事長
7	佃 真知子	竹末・若葉地区社会福祉協議会 竜王地区民生委員児童委員協議会	理事 前副会長	25	権頭 聖	医療法人権頭クリニック	院長
8	富田 朋子	竹末・若葉地区社会福祉協議会 竹末校区体育委員会	理事 体育委員	26	廣田 千治	医療法人広福会 ひろた消化器科・内科クリニック	院長
9	福澤 左智子	竹末・若葉地区社会福祉協議会 竹末市民センター	理事 館長	27	三橋 裕二	特定医療法人東筑会 介護老人保健施設翡翠苑	施設長補佐
10	柳田 京子	竜王地区民生委員児童委員協議会	会長	28	中山田 祐二	福岡ひびき信用金庫相生支店	支店長
11	小林 良子	竜王地区民生委員児童委員協議会	副会長	29	水原 健介	株式会社福岡銀行相生支店	支店長
12	野口 恵美	竜王地区民生委員児童委員協議会	主任児童委員	30	茅野 正順	八幡相生郵便局	局長
13	佐野 雅子	竜王地区民生委員児童委員協議会	民生委員	31	池崎 浩美	竹末子育てサポーター	代表
14	善明 チヅル	竜王地区民生委員児童委員協議会	民生委員	32	田中 勝治	アカデミーかがやき塾	代表
15	河原 真弓	竜王地区民生委員児童委員協議会	前民生委員	33	岩坂 由美子	早稲田イーライフ相生	代表
16	西村 照夫	北九州市立竹末小学校	校長	34	奈須 康子	北九州市立総合療育センター 西部分所	分所長
17	肱岡 照明	北九州市立竹末小学校PTA	会長	35	篠崎 壽徳	元八幡保護司会	地区保護司
18	峯 隆幸	北九州市立引野中学校	校長				

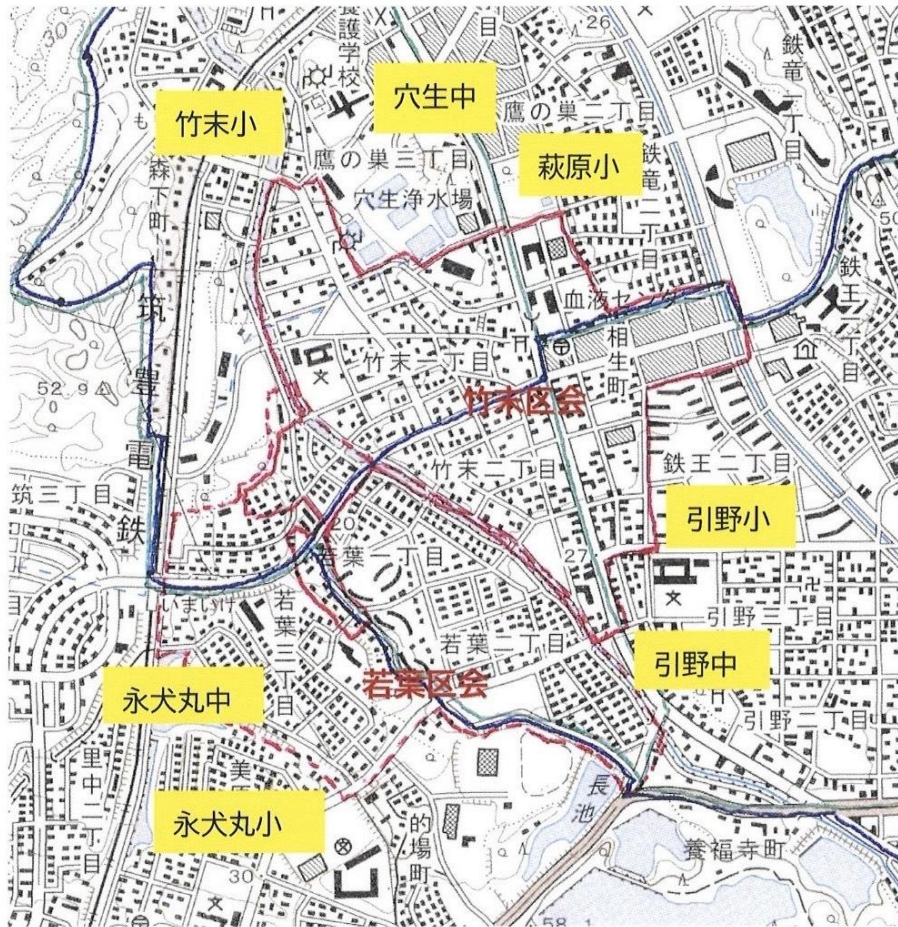
2 竹末・若葉地区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R7年8月28日(木)	第1回策定委員会 ・地域の良いところ、課題の共有
2	R7年9月25日(木)	第2回策定委員会 ・既存の活動を体系的に整理 ・基本理念の決定
3	R7年10月23日(木)	第3回策定委員会 ・既存の活動を体系的に整理 ・基本目標と重点実施項目の選定
4	R7年11月27日(木)	第4回策定委員会 ・既存の活動を体系的に整理 ・重点実施項目の年次計画について検討
5	R7年12月25日(木)	第5回策定委員会 ・計画書及び概要版の構成、編集について確認
6	R8年1月22日(木)	第6回策定委員会 ・計画書及び概要版の素案の確認



竹末・若葉地区小地域福祉活動計画策定委員会

## 竹末・若葉地区小地域福祉活動第二次計画



小学校区 ——— 中学校区 ——— 自治区会境 ———



### 竹末・若葉地区社会福祉協議会

〒806-0066 北九州市八幡西区若葉 1-7-1 竹末市民センター内  
TEL 093-631-0261 FAX 093-631-0262

### 八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階  
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

### 北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内  
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579  
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351